

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-	
		スーパー（店 長）	単価の動き	・寒くなり、冬物の売上が上昇してきた。ガソリンの高騰を受け、客の節約感が高まっているが、豚肉などの安くても価値のある物は良く売れるようになっている。	
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今月中旬以降の大きな気温の変化を機に、単価の高い高額商品、良い商品が売れ、順調であった。	
		観光名所（職員）	来客数の動き	・入場者数が増えてきており、外国人客も増えている。	
	変わらない		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・前年と比べると来場者が落ちている。
			商店街（代表者）	販売量の動き	・今月は、寒い日が続いたこともあり、売行きは良かったが、単価の上昇にはなかなかつながらない。
			百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数、売上高共に前年を下回った。月初めにファッション関連商品が特に苦戦した。衣料品全般も動きが悪い。
			スーパー（財務担当）	お客様の様子	・来客数は、昨年と比べて変動はない。
			コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・客単価が、例年の97%前後の店舗が多い。定率減税の廃止による厳しい状況であるが、来客数が少しずつ回復している。気温の低下によって、冬物本来の販売数値が出てきた。しかし、全体の販売量の動きが変化するまでには至らない状況である。
			衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・気温の低下と共にコート、ジャケットの動きが活発になってきたが、非ウール系が主体でウール系は振るわず客単価がなかなか上がらない。
			家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・前年同月に比べ、5%ほど来客数が減少している。説明には納得しても、購入時期を伸ばしたいと言う客もあり、購買意欲の薄れが見られる。年末での購入を促しても、反応が鈍い。
			乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売量が前年の10%以上、割り込んでいる状況が続いている。
			乗用車販売店（管理担当）	来客数の動き	・ショールームへの来客数が少ない。
			旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・11月は旅行シーズンであり、売上は順調に伸び、昨年を上回っている。国内では紅葉・温泉・かになどに人気があった。3連休もあって、海外へもチャーター便を含めて順調に集客できた。
タクシー運転手	単価の動き	・プロ野球チームのキャンプ等の催しがあり、単価が上昇した。			
タクシー運転手	来客数の動き	・昼は暇で、夜も人出が少なく、忘年会シーズンになっているはずだが、客がない。四国遍路も減っており、良くない。			
通信会社（管理担当）	販売量の動き	・当社及び競合他社において、11月上旬から下旬にかけて販売方法の変更があり、客は市場の動向を観察している。			
設計事務所（職員）	競争相手の様子	・受注競争による低価格化が恒常化してきており、利益を圧縮または赤字覚悟で受注せざるを得ない環境に変わっていない。同業他社でもコストの切り詰めを継続しているが、限界に近い状態に変わっていない。			
やや悪く なっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・原油価格が大きく上がったあたりから、消費者の動向は変わってきている。買い控えのような行動・言動が目につく。	
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・秋や冬の苗の植え替え時期に入っているが、暖冬のため生産がずれ込んだりして、品不足で入荷の単価が高くなり、利益率が低下している。来客数も減少している。	
		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・お歳暮が始まったが、例年より売上は悪い。	
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・週刊誌などが値上がりしてきており、客単価が上がっているが、買い控えもあって、売行きは前年より低下している。	

	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・秋物の需要が、店頭で振るわなかった。今月に入って冬物が動き始めたが、客は、価格に関心が向いているため、客単価は低下している。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・石油の値上げで、ガソリンが非常に高くなっていることが、購入意欲にも影響している。	
	スーパー（店長）	お客様の様子	・地方の足である車のガソリンが値上げになり、灯油の店頭価格が、毎月値上げ続きとなっているため、メインの商品である食品の販売量・単価とも落ち込んでいる。	
	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・原油高騰による影響が、食料品・日用品など生活必需品全般に続いており、販売価格への転嫁はあまりないものの、消費抑制につながっている。	
	スーパー（統括担当）	販売量の動き	・物価の上昇により、各店の特売商品だけを買って回る客が増えている。その結果、客当たりの売上が減っている。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ガソリンの値上げの影響により、新車の販売が芳しくない。大型車は相変わらず悪いが、安定していたミニバン需要も、この数か月よくない。全体でも、計画通りの販売量を示す車種はない。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ガソリン代の急騰などにより、外食の回数も少なくなり、予算も少なくなってきた。	
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	11月は、知事、市長選挙があったことにもよるが、来客数が減っている。「景気は悪い、まだ底にきていない」というような客の話をよく聞く。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・2、3か月前と比べて、売上高が悪くなっている。特に今月は悪い。	
	通信会社（支店長）	販売量の動き	・客の動き・反応が鈍い。活気が感じられない。	
	悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・普段泣き言など言わない社長たちから、売上が伸びないと嘆く声を聞き、景気の悪さを実感する。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	単価の動き	・ボージョレーヌーボの発注量を削減して、売れ残り回避及び単価アップを図ったが、計画通りには実現できなかった。
		美容室（経営者）	単価の動き	・様々な分野での値上げが、客の消費意欲を減退させているため、客単価が低く抑えられている。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・寒くなってきて、麺類が動き出した。
	変わらない	木材木製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・住宅着工数の落ち込みが第一の原因である。アメリカの住宅景気の落ち込み、国内では、株価が上昇しないことや消費税問題が先送りされていることが、さらに景気を悪くしている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・地域間格差は見られるが、全体的には建設用クレーンの稼働状況に変化はなく、好調に推移している。
		通信業（営業担当）	それ以外	・年末商戦がスタートしているが、個人消費の拡大がないとの声をデパート、大型量販店、スーパーの経営層から聞く機会が多い。例年に比べ、お歳暮の申込状況も出足が悪く、少し心配をしているなどの話も聞く。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の客の試算表、月次の決算等を昨年と比較して、マイナスになっている客が、プラスの客よりも多い。この現状から、景気は下向きと判断する。
	やや悪くなっている	金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油・素材の高騰により採算が取れなくなってきたが、小売店の抵抗が強く、値上げができない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・大手特装メーカーのシェア拡大攻勢により、上半期から続いている販売価格の低下が顕著に表れている。原油相場・部材の高騰が重なっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社は工場・産業用の設備をしているが、受注はあるが、非常に安い単価となっている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・公共事業、民間工事共に、受注できても利益は上がらない。コストダウン努力も限界に近づいている。
輸送業（役員）		受注価格や販売価格の動き	・客である企業の物流合理化（拠点統廃合、海外移転等）による受注価格の値下げ要請に加え、原油高騰によるコスト増要因が、収支に大きな打撃を与えている。	

		輸送業（支店長）	取引先の様子	・取引先の数社で原油価格の高騰による原材料の値上がりのため出荷量が減少している。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・このところ停滞が続いており、なお悪くなってきている。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	それ以外	・建築確認の遅れが2か月を超えており、下請けの資金繰りが苦しくなっている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・求人に対するコストのかけ方は昨年同様だが、情報誌・就職サイトなどへの掲載だけでは人材確保が難しく、周辺ツール（自社ホームページ・パンフレット・新聞でのイメージ展開等）が必要になってきているため受注増となっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・従来の傾向から、伸びるべき部分が伸び始めている。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・開院や増床による病院関係の広告が手堅くあったが、車や不動産、建築関係は相変わらず低調であった。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・11月の有効求人倍率は、先月と同じ0.71倍となり、横ばいである。
やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・今月に入って派遣依頼数が、ぱたっと止まった。ここまで落ち込むのはまれである。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月と比較して求人数は、最近3か月は2けたのマイナスが続いており、景気は悪くなっている。	
	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・県内の企業の求人数は前年と比較して横ばいである。大手企業では、支店・営業所の人員見直しが進められている企業が多くあり、事務職の求人数が減っている。	
	悪くなっている	-	-	-